

市町村合併を考える

《キラリとひかるまちづくりをめざして》

前回、広報5月号では市町村合併に関する全体の枠組みや歴史などについてお知らせしました。

今回は、その第2弾として、市町村合併を検討するための材料である合併パターン4町に関するさまざまな分野の比較データをお知らせします。

普段はあまり気にしないことですが、こうした機会に改めて見てみるのもいいのではないのでしょうか（数字ばかりで見づらいと思いますが）。仮に4町が合併した場合、各種料金などがどうなるのかは今の段階では分かりませんが、瀬棚町がほかの3町とどこが違うのか参考にしてください。

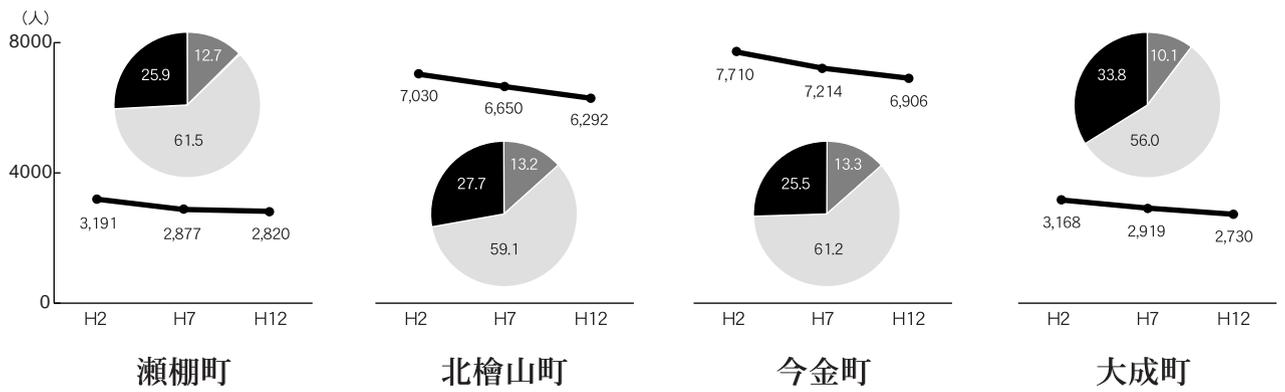
町の概要

町 勢

区 分	瀬棚町	北檜山町	今金町	大成町
開 基 (戸長役場設置)	明治13年 3月28日	明治35年 3月28日	明治30年 6月13日	明治2年 8月15日
町制施行	大正10年 1月1日	昭和28年 10月1日	昭和22年 10月1日	昭和41年 10月1日
合併等経歴		<ul style="list-style-type: none"> ①明治35年2月19日、瀬棚村より分村 東瀬棚村 ②昭和28年10月1日、町制施行により東瀬棚町 ③昭和30年4月1日、太檜村と合併し、北檜山町と改称 	<ul style="list-style-type: none"> ①明治30年6月13日、瀬棚村より分村 利別村 ②昭和22年10月1日、町制施行により今金村と改称 	<ul style="list-style-type: none"> ①昭和30年7月20日、久遠村と貝取澗村が合併し大成村

人口の推移（国勢調査）

人口の推移（国勢調査）と年齢構成の割合（H12国勢調査）

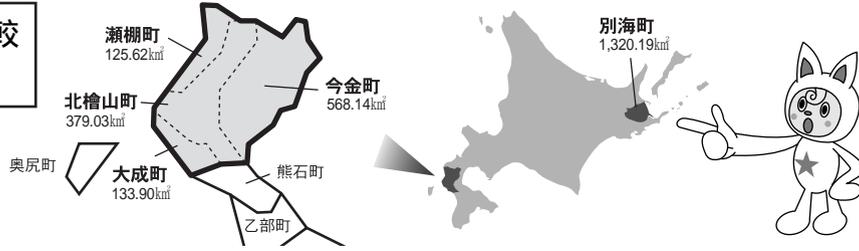


人口は、各町総じて減少傾向にあります。その中で、瀬棚町の減少率が少なくなっています。年齢構成では、65歳以上の高齢者人口が増加し、14歳以下の若者人口が減少するという典型的な少子高齢社会傾向にあります。平成12年国勢調査での4町の人口（18,748人）は、八雲町（17,636人）より、1,000人ほど多い人口です。4町の将来推計では、平成17年で「17,911人」、平成22年で「16,744人」と推計しています。（檜山支庁管内行政検討会議による推計数値から）

面 積

4町の面積比較

合計：1,206.69km²



4町の面積を合計すると、根室管内「別海町」の面積とほぼ同じ広さになるんだよ！

一般的に合併の大きなメリットとして、行政体制の効率化と高い水準での行政サービスの提供が可能となるといわれていますが、行政区域が大きくなることにより、住民の声が届きにくくなったり、役場が置かれる中心部と周辺地域との格差が生じるなど、面積が広くなることによる弊害も考えられます。

行 政

議会議員の定数と報酬

議会議員の定数

単位：人

区 分	瀬棚町	北檜山町	今金町	大成町	4町合計	平均
法定定数(現行)	16	22	22	16	76	19
“(H15.1以降)”	14	18	18	14	64	16
条例定数(議員数)	14	16	16	12	58	14.5

議員の定数は、地方自治法の規定に基づき人口により決められています。

合併した場合の議員定数は、現行の定数58人が22人となり、36人分の財政支出が減少されますが、半面、住民の声が行政に反映されにくくなるのが心配されます。(合併特例法により定数の激変緩和策がとられています。)

議会議員の報酬

単位：円

区 分	瀬棚町	北檜山町	今金町	大成町	平均
議長	234,000	250,000	245,000	220,000	237,250
副議長	189,000	200,000	205,000	176,000	192,500
委員長	175,000	190,000	187,000	165,000	179,250
議員	168,000	180,000	174,000	160,000	170,500
適用年月日	H7.10.1-	H10.7.1-	H10.4.1-	H7.4.1-	-

職員数の状況

単位：人

区 分	瀬棚町	北檜山町	今金町	大成町	4町合計
一般行政	66	72	82	49	269
教育	24	15	26	24	89
水道・下水道	4	6	7	5	22
病院	18	48	44	23	133
その他	3	6	38	5	52
合計	115	147	197	106	565

(平成13年4月1日現在)

職員数については、各町とも行政改革推進計画に基づき職員の適性配置に努めています。

4町が合併した場合、管理部門の職員の合理化と事業部門の充実が可能となり、職員数を少なくすることにより給料などの経費が縮減され、財政負担の軽減が図られます。一方、職員の合理化により、地域ごとの行政サービス面での低下も心配されます。

瀬棚町の一般行政職には老人ホーム、教育には高等学校教員が含まれています。



広域行政の状況

組 合 名	処 理 事 務	瀬棚	北檜山	今金	大成
北部檜山衛生センター-組合	し尿処理、ごみ処理				
檜山広域行政組合(管内全町)	市町村圏域計画、消防				
狩葬祭組合場	火 葬				

行政の広域化には、市町村合併という方法のほかに、一部事務組合など、事務を共同で処理する方法もあります。

このほかに「介護認定審査会」や「公平委員会」といった機関が共同設置されています。また、介護保険事務全般を共同で運営する「広域連合」の設立に向け準備を進めています。

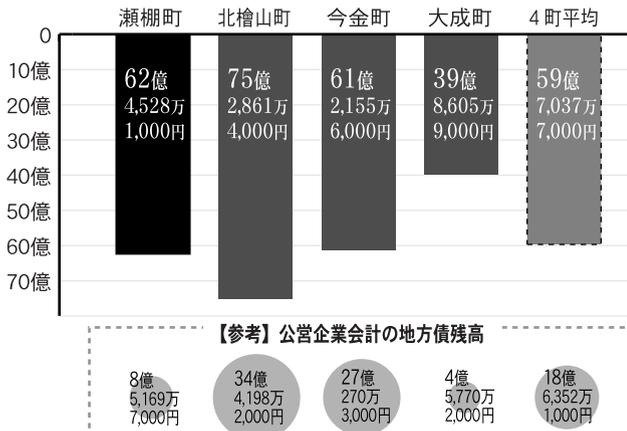
特別職の給料

単位：円

区 分	瀬棚町	北檜山町	今金町	大成町	平均
町 長	780,000	810,000	820,000	690,000	775,000
助 役	610,000	655,000	680,000	570,000	628,750
収 入 役	570,000	610,000	625,000	535,000	585,000
教 育 長	570,000	610,000	625,000	535,000	585,000
適用年月日	H5.6.1-	H10.7.1-	H10.4.1-	H7.4.1-	-

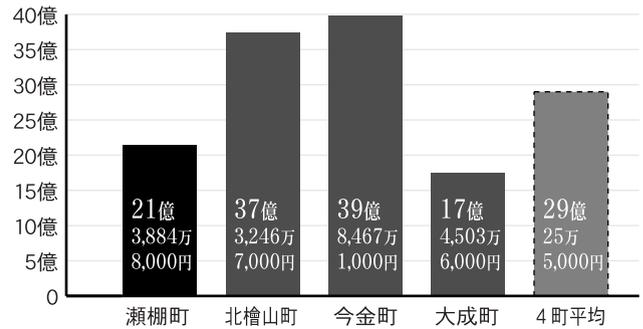
4町が合併した場合、一つの町になるわけですから、必然的に給料月額が調整されます。

地方債残高の状況 (平成12年度末現在)



地方債（借入金）残高は、将来の財政運営にとって大きな負担となっております。当町はここ数年が償還のピークですが、各町計画的に取り進め、健全財政を目指しています。

標準財政規模 (平成12年度決算)

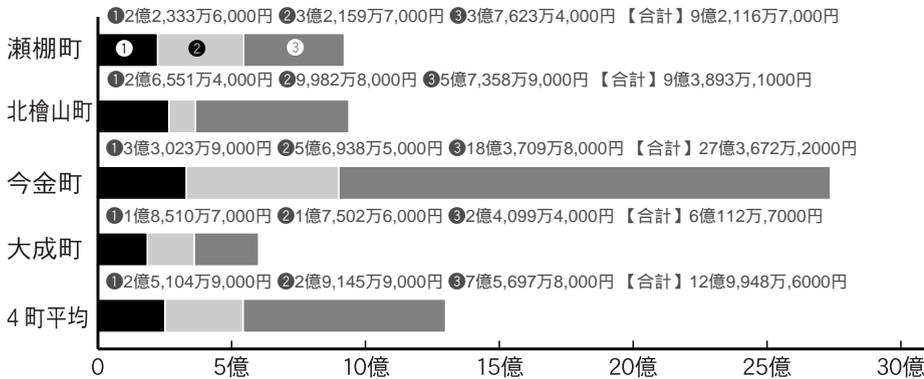


長引く景気の低迷や雇用環境の悪化などにより、極めて厳しい財政運営となっており、今後もなお一層の経費の節減合理化と歳入の確保が必要です。

合併した場合の財政支援制度や将来の財政運営などについては、改めてお知らせします。

標準財政規模とは、標準税収入額に普通交付税を加えたものをいう。

基金残高の状況 (平成12年度決算)

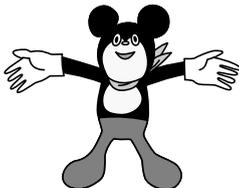


基金は、厳しい財政状態の中で年々減少の傾向にあります。

町 税 等

町 税 の 推 移

各町の税収は、ほぼ横ばい傾向にありますが、人口の減少と少子高齢化が進み、今後の税収の伸びに大きな期待はできません。



単位：千円

区 分	H 8	H 9	H 10	H 11	H 12	H12歳入構成比
瀬 棚 町	167,774	179,972	169,802	176,082	160,551	4.3%
北 檜 山 町	451,585	452,836	432,754	457,657	449,213	8.0%
今 金 町	590,235	589,078	581,350	585,007	589,374	9.6%
大 成 町	131,235	147,688	140,073	142,895	135,975	5.0%

(町税：市町村民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、特別土地保有税、入湯税)

町税の税率等（平成12年度）

区 分		瀬棚町	北檜山町	今金町	大成町		
市町村民税	個人	均等割 (円)	2,000	2,000	2,000	2,600	
		非課税基準額 (円)	280,000	280,000	280,000	280,000	
		給与所得者標準世帯収入 (円)					
		所得割 (%)	200万円以下 3% 200万円超 8% 700万円超 10%				
	法人	法人税割 (%)	14.7	14.7	14.7	14.7	
		均等割	1号法人 (円)	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000
			2号法人 (円)	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000
			3号法人 (円)	492,000	492,000	492,000	492,000
			4号法人 (円)	480,000	480,000	480,000	480,000
			5号法人 (円)	192,000	192,000	192,000	192,000
6号法人 (円)			180,000	180,000	180,000	180,000	
7号法人 (円)			156,000	156,000	156,000	156,000	
8号法人 (円)			144,000	144,000	144,000	144,000	
9号法人 (円)	60,000		60,000	60,000	60,000		
固定資産税 (%)		1.4	1.4	1.4	1.4		
入湯税 (円)		日帰り 40円 ※現在、適用されている施設はありません	宿泊・日帰り 100円	宿泊 150円 日帰り 100円	宿泊 150円 休憩 120円 日帰り 60円		

国民健康保険税

区 分		瀬棚町	北檜山町	今金町	大成町
基礎賦課分	所得割 (%)	9.5	6.7	5.7	13.3
	資産割 (%)	71.6	55.0	47.8	75.0
	均等割 (円)	29,500	27,000	23,800	26,400
	平等割 (円)	51,000	38,000	41,400	43,300
	賦課限度額 (円)	530,000	530,000	530,000	530,000
	一人あたり平均 (円)	81,100	80,340	68,121	75,510
	一世帯あたり平均 (円)	182,640	181,366	164,924	163,450
介護納付金分	所得割 (%)	0.70	0.70	0.57	0.80
	資産割 (%)	6.0	7.4	6.0	6.0
	均等割 (円)	5,700	6,800	4,800	5,000
	平等割 (円)	3,800	4,400	5,500	3,500
	賦課限度額 (円)	70,000	70,000	70,000	70,000
	一人あたり平均 (円)	14,780	18,139	18,739	12,169
	一世帯あたり平均 (円)	22,352	27,115	24,223	17,845

一世帯あたりの平均で見ますと、4町とも違いが生じてきます。
合併した場合、保険税の調整・統一が必要になります。

介護保険料（第1号被保険者）（年額）

区 分	瀬棚町	北檜山町	今金町	大成町	平均	
保険料 (円)	第1段階	17,300	20,600	24,300	21,300	20,875
	第2段階	26,000	30,900	36,500	32,000	31,350
	第3段階	34,700	41,300	48,700	42,700	41,850
	第4段階	43,400	51,600	60,900	53,400	52,325
	第5段階	52,100	61,900	73,100	64,000	62,775

瀬棚町のみ、保険料の軽減措置を行っています。

合併した場合、各町の保険料及び軽減措置に差が生じていきますので、調整・統一が必要になります。この場合、瀬棚町の保険料の引き上げが想定されます。

住民サービス等

窓口手数料

住民票、戸籍関係などの窓口手数料は、各町で特に違いはありません。



下水道料金

区分	瀬棚町	北檜山町	今金町	大成町	平均
排出水量 (円)	10 m ³	1,280	1,550	—	—
	20 m ³	2,680	3,150	—	—
	30 m ³	4,080	4,750	—	—
	40 m ³	5,480	6,350	—	—
	50 m ³	6,880	7,950	—	—

今金町、大成町は、現在整備中です。
合併した場合、料金の調整が課題となります。

水道料金

区分	瀬棚町	北檜山町	今金町	大成町	平均	
使用水量 (円)	10 m ³	1,280	1,550	1,660	1,250	1,435
	20 m ³	2,680	3,150	3,860	2,250	2,985
	30 m ³	4,080	4,750	6,060	3,250	4,535
	40 m ³	5,480	6,350	8,260	4,250	6,085
	50 m ³	6,880	7,950	10,460	5,250	7,635

瀬棚町は大成に次いで安い料金になっています。
合併した場合は各料金が異なるため、料金設定の調整が必要となります。

保育料

区分	瀬棚町	北檜山町	今金町	大成町	
3歳児未満	非課税世帯 (円)	4,400	9,000	9,000	5,000
	課税世帯 (円)	6段階 11,500~30,000	7段階 21,000~44,500	8段階 19,500~44,500	7段階 12,900~33,000
3歳児以上	非課税世帯 (円)	2,800	6,000	6,000	4,000
	課税世帯 (円)	6段階 8,300~27,000	7段階 18,000~41,500	8段階 16,500~41,500	7段階 10,500~29,700

保育料は、国の基準内で各町それぞれ異なる階層と利用料を設定しています。
合併した場合、利用料の調整が課題となります。

各種施設等の利用

区分	瀬棚町	北檜山町	今金町	大成町
学校	幼稚園 (私立含む)		2	
	小学校	4	9	3
	中学校	1	3	1
	高等学校	1 (町立)	1 (道立)	
老人福祉	養護老人ホーム	1		
	特別養護老人ホーム		1	1
	老人福祉センター			1
	老人憩いの家			1
	デイサービスセンター	1	1	1
	在宅介護支援センター	1	1	1
	知的障害者福祉			1
児童福祉	保育所	1	2	2
	児童館	1	1	1
	助産施設			1
その他社会福祉			1	
医療	病院 (民間含む)		2	1
	医院・診療所 (民間含む)	2	2	4
社会教育等	図書館 (センター)	1	1	1
	郷土資料館 (室)	1	1	1
	プール	1	1	1
	体育館	1	1	1
	野球場	1	1	1
	パークゴルフ場	2	1	2

施設の利用については、保育所がすでに広域入所や広域利用が行われていますので、合併した場合の利用者の利便性に影響はないと考えられます。しかし、施設整備に対する財政的支援については、各町それぞれ格差があり調整が必要となります。

各種施設等の利用

区分		瀬棚町	北檜山町	今金町	大成町	全道町村平均	全道平均
道路（町道）	道路舗装率（％）	58.9	50.6	37.2	41.2	45.5	50.6
橋りょう	永久橋比率（％）	100.0	97.0	100.0	82.7	96.3	96.7
都市公園	都市公園面積（㎡）			209,000			
公営住宅	町営住宅比率（％）	19.2	12.2	10.1	19.2		
	入居競争率（倍）	2.7	3.0	3.1	1.6		
ごみ処理施設	実施率（％）	91.4	90.0	89.6	92.1	96.5	99.1
	収集率（％）	91.5	90.0	89.6	92.1	94.9	98.9
簡易水道	普及率（％）	87.7	96.5	82.8	79.7	89.8	96.3
下水道	普及率（％）	40.6	47.9			40.7	80.8
小学校施設	非木造校舎比率（％）	76.9	88.9	94.9	97.0	93.3	96.8
中学校施設	非木造校舎比率（％）	100.0	59.8	100.0	100.0	96.4	98.0

（平成12年度公共施設状況調査）

（全道平均は平成11年度公共施設状況調査・札幌市を除く）

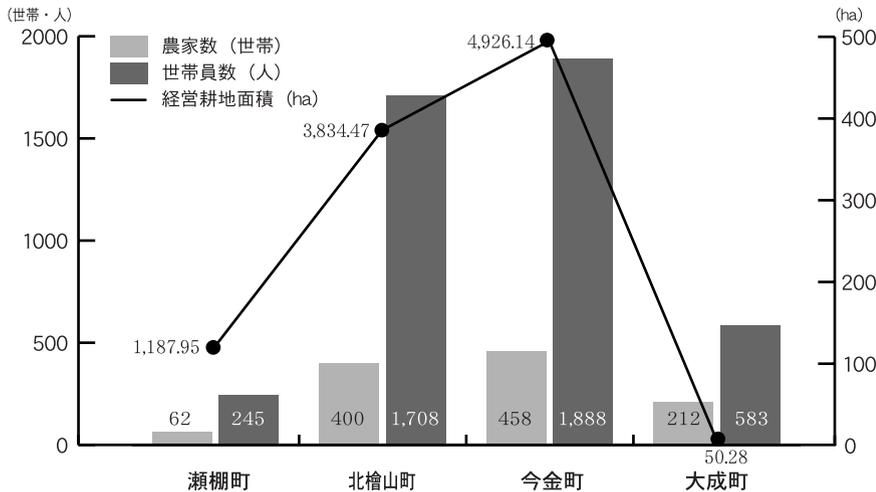
産 業 ・ 経 済

基幹産業の農業・漁業は、戸数・従業者数が年々減少傾向にあり、若年層の流出が続いていることから、高齢化が進んでいます。また、生産額・漁獲高の減少による収益の伸び悩みなど、経営環境はますます厳しくなってきます。

商工業は大型小売店の出店による購買力の流出、公共事業の縮減などによる建設業への影響など厳しさを増しています。

今後は、創意と工夫による地域産業の再生、基盤強化のための取り組みが必要です。

農 業

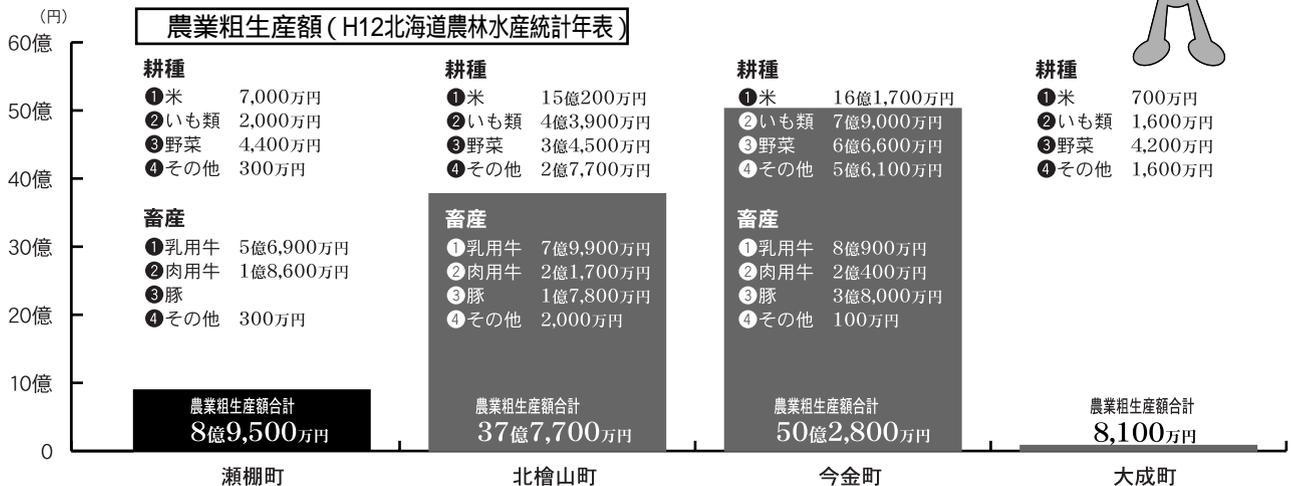
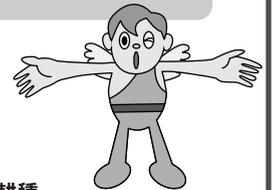


◀農家数、経営耕地面積
(2000年世界農林業センサス)

【参考】4町の合計数値

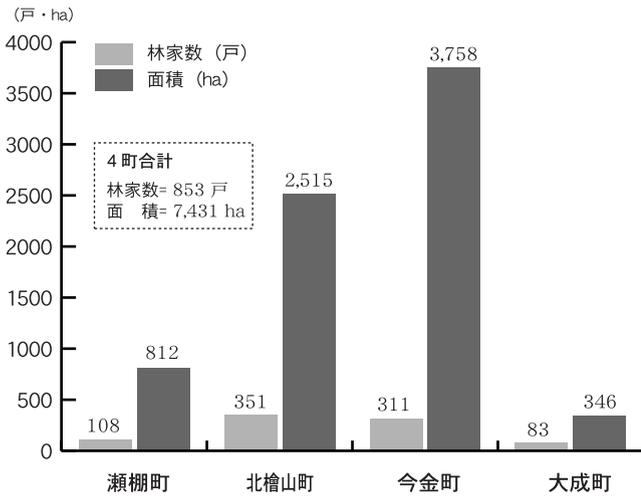
農家数 1,132世帯
世帯員数 4,424人
経営耕地面積 9,998.84 ha
農業粗生産額 97億8,100万円

耕種 ▶ 米 (31億9,600万円) ▶ いも類 (12億6,500万円) ▶ 野菜 (10億9,700万円) ▶ その他 (8億5,700万円)
畜産 ▶ 乳用牛 (21億7,700万円) ▶ 肉用牛 (6億7,000万円) ▶ 豚 (5億5,800万円) ▶ その他 (2,400万円)

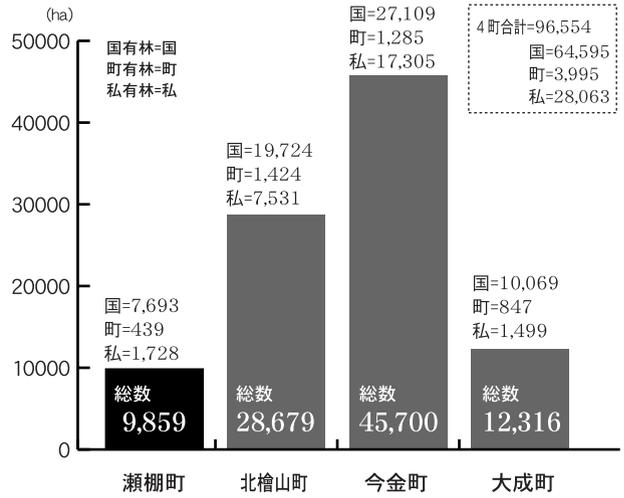


林 業

山林保有林家数(2000年世界農林業センサス)

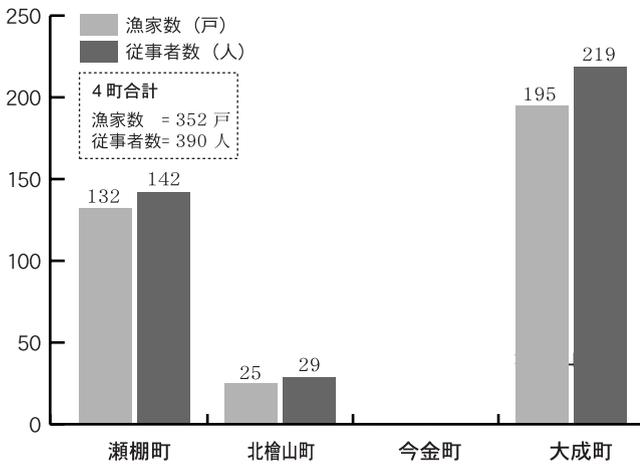


森林面積 (H12年度北海道林業統計)

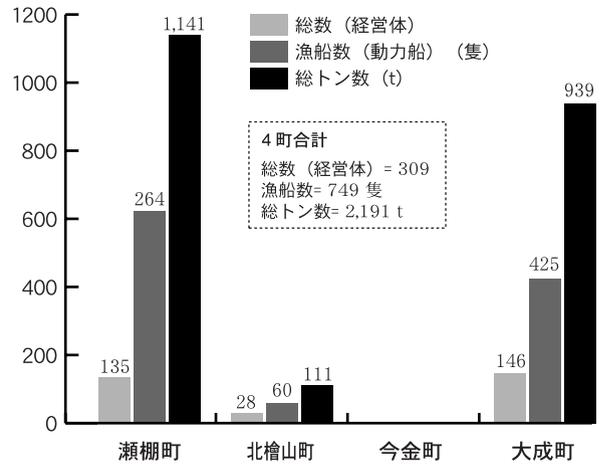


漁 業

漁家数、従事者数 (農林水産課調)



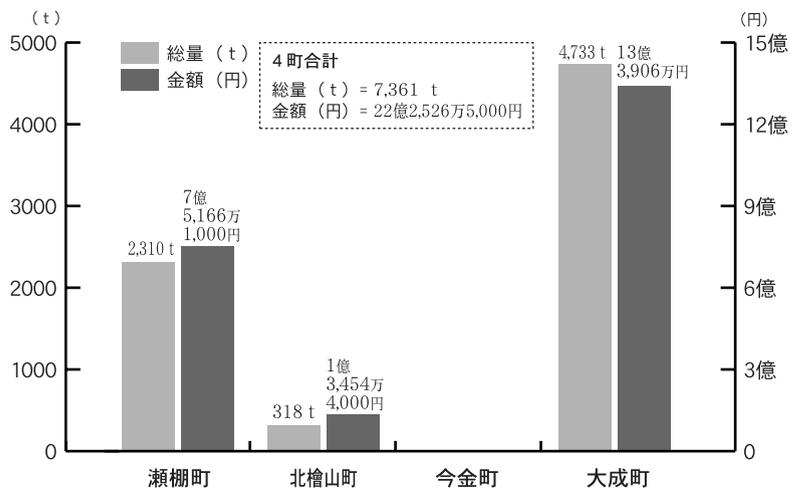
階層別経営体等 (H12北海道農林水産統計年報・北海道漁船統計)



戸数・従業者数が年々減少傾向にあり、若年層の流出が続いていることから、高齢化が進んでいます。また、漁獲高の減少による収益の伸び悩みなど、経営環境はますます厳しくなっています。



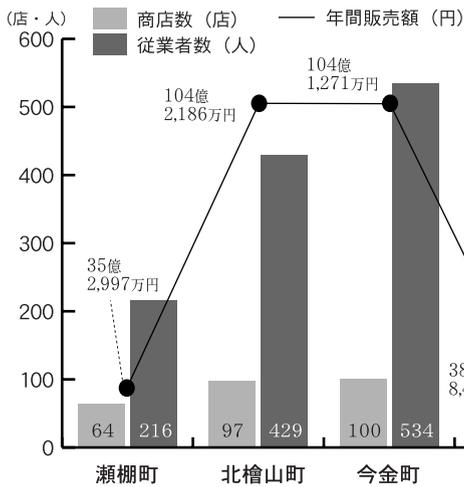
漁業生産高 (H12北海道水産現勢)



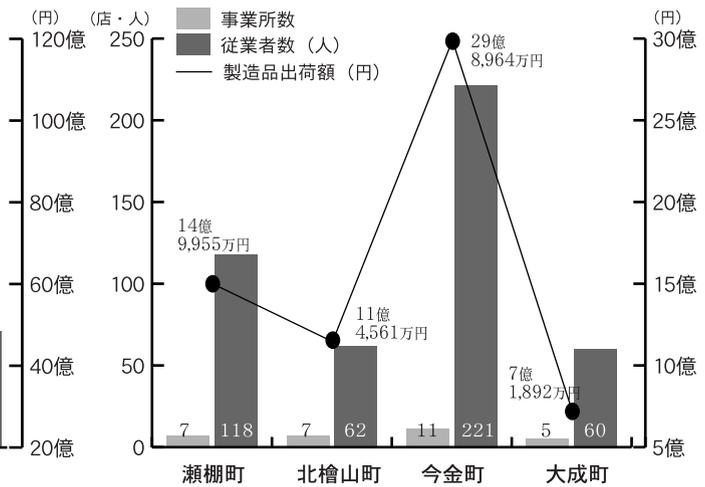
商 工 業

商店数、従業者数、年間商品販売額 (H11商業統計調査)

事業所数、従業者数、製造品出荷額



4町合計 商店数= 316 店 従業者数= 1,349 人
年間販売額= 282億4,893万円



4町合計 事業所数= 30 店 従業者数= 461 人
製造品出荷額= 63億5,372万円

瀬棚町における今後の市町村合併検討スケジュール (予定)

項 目	時 期	内 容
検討資料提供	9月上旬	広報9月号に掲載(特集)(4町の生活関連資料等)
町民懇談会	9月中旬～	町民皆さんの意見を拝聴する機会として、懇談会を開催します。 開催案内は別途いたしますが、町内会、女性団体、高齢者団体、産業団体、一般など、2回に分けて開催する予定です。 懇談会の内容は、町広報でお知らせします。
町民アンケート調査	10月上旬～	20歳以上の町民を対象にアンケート調査を実施し、町民皆さんのご意見をまとめますので、ご協力をお願いします。 アンケート調査の結果は、町広報でお知らせします。
方針協議	12月～3月	町民懇談会、町民アンケート調査での町民皆さんの意見を参考にしながら、今回の市町村合併に対する瀬棚町の考え方、方針をまとめます。

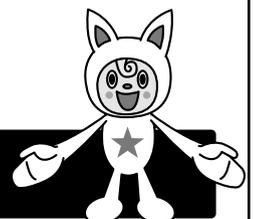
さて、いかがでしたでしょうか。途中で見るとも嫌になったのでは？

市町村合併を検討するための一つのめやすになれば幸いです。

さまざまな特例措置を用意し市町村合併を推進する国が定めているその期限は、平成17年3月31日です。合併するにしても、しないにしても、結論を出さなければなりません。

瀬棚町は、ご覧いただきましたように「町民懇談会」や「町民アンケート調査」を行い、町民皆さんの意見を聴きながら、遅くとも来年3月までに、瀬棚町の考え方をまとめたいと考えています。皆さんのご協力をお願いします。

目指すは
まちらりと光る
まじりと輝く
まじりと輝く
まじりと輝く



お問い合わせ先 総務町民課/担当：碓谷・福士 TEL7-3311 FAX7-2302